



発行所：日本合板商業組合

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-4

TEL：03-5256-9080

<https://www.nichigoshonet/>

e-mail：jpwa@oboe.ocn.ne.jp

Japan Plywood Wholesalers Association

## TOPIC | 1 | 埼玉県で、次世代デジタル技術導入の郊外スマートタウンの実現へ

埼玉県久喜市、東武鉄道、トヨタホーム、イオンリテール、早稲田大学の5者が、次世代スマートタウン「BRIDGE LIFE Platform(ブリッジライフプラットフォーム)構想」を発表した。埼玉県久喜市の東武鉄道南栗橋駅近くの総面積約16.7ha土地に、戸建住宅172戸を分譲する大規模プロジェクトで、5Gや自動宅配などの次世代デジタル技術などを導入し、利便性の高い暮らしを実現。コロナ禍で需要が増している首都圏郊外でスマートタウンのモデルケースを目指す。

ブリッジライフプラットフォームの最大の特徴は、先進のデジタル技術の導入を核に、コロナ禍で高まる新しい生活様式に対応した利便性の高い暮らしを提案している点だ。

5GのWi-Fi環境をまち中に張り巡らせることでどこにいても快適にテレワークできる通信環境を整備したり、

コロナ禍で重要性が増す非接触ニーズに対応した取り

組みも、自動宅配ロボットと自動運転ゴミ収集車を通じて行う。

トヨタホームと東武鉄道が供給を行う戸建分譲住宅は、脱炭素と災害対策、

コミュニティを柱に付加価値を高めた提案を行う。コロナ禍でより高まる住宅内の快適性と光熱費削減ニーズ、脱炭素意識への高まりに対応するため、全戸ZEHとする。

また、災害の激甚化・頻発化に対応し、災害時に電気自動車から住宅に給電できる「クルマde給電」も標準装備する。このほか、住民同士のつながりも配慮し、住民主体で組織する管理組合も設置し、コミュニティ醸成にも積極的に取り組む予定だ。



南栗橋駅前エリアで開発するスマートタウン「BRIDGE LIFE Platform(ブリッジライフプラットフォーム)構想」のイメージ

## TOPIC | 2 | 「デジタル田園都市」実現へ新交付金を創設

政府は、第一回「デジタル田園都市国家構想実現会議」を開催し、デジタル実装を通じた地方活性化を推進するため、新しい交付金を創設することなどを発表した。

「デジタル田園都市国家構想」は、岸田文雄首相が重要政策に位置付けている施策。過疎化や高齢化といった地方の課題に、テレワーク・ドローン宅配・自動配送など、デジタルの実装を進めることで解決を目指す。

会議では、デジタルを活用した地域の自主的な取り組みを応援するための交付金を大規模に展開することを発表。デジタルを活用した地域における課題解決や魅力向上の好事例を創出し、横展開を図る。また、テレワークを更に推進するため、サテライトオフィスの整備や運営、そこに進出する企業による地域活性化に向けた事業の支援

などの地方自治体の取り組みを支援する。

すでに令和3年度予算で、デジタル田園都市国家構想に活用できる地方創生関係の交付金、地方創生推進交付金(1000億円)などが用意されているが、11月19日に発表された経済対策の中に新規の交付金「デジタル田園都市国家構想推進交付金」が盛り込まれた。

第一回会議において、牧島かれんデジタル大臣は、デジタル田園都市の実現に向け様々なアプローチがあることを示した。例えば、次世代のデジタル家電と新しいライフソリューションサービスとが融合した住まいの再設計から見つめ直すまちづくりを目指す「スマートホーム先行型」など。今後、デジタル田園都市の実現に向け、住宅業界が重要な役割を果たすことが求められるだろう。

今知りたい情報がここにある

住生活産業のための  
情報プラットフォーム

Housing Tribune Online premium

ハウジングトリビューン オンライン プレミアム

<https://htonline.sohjusha.co.jp/premium/>